

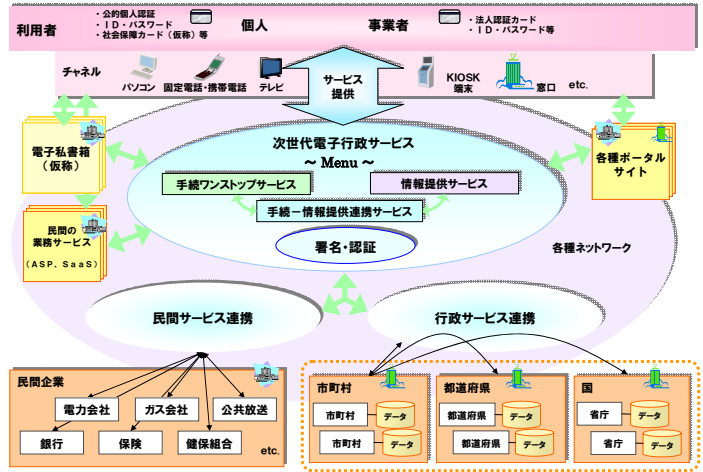
**Vision**

情報爆発時代において日本社会を知識創造の社会へ導き、  
社会インフラの刷新を伴うイノベーションの連鎖を実現する新たなサービス

具体的な目標

- 1. 利用者視点でのサービス提供**
  - 情報提供を含む簡素で便利なワンストップサービスの実現
  - 縦割り行政を排除したサービス提供
  - 申請主義から脱却したプッシュ型サービスの提供 etc.
- 2. 行政事務の最適化の推進**
  - サービスの付加価値の向上と効率化
  - 全体最適を意識した業務プロセスへの変革
  - 今まで実現できなかったサービスの実現 etc.
- 3. 企業活動の活性化**
  - 行政サービスとのシームレスな連携による生産性向上
  - 新たな民間サービス創設の環境作り etc.
- 4. 国民と行政の信頼強化**
  - 行政サービス・情報・プロセスの見える化
  - 個人情報へのアクセス履歴の本人からの閲覧 etc.

サービス基盤のイメージ図



多くの利用が見込め、かつ国や地方、個人や企業が係わるイベントである「引越」と「退職」のワンストップサービス実現を次世代電子行政サービスの第一歩とする。

II ライフイベントに即したワンストップサービス

ライフイベント単位で手続きをワンストップ化 → 利用者の利便性向上、行政の効率化

BPRによる効率化、添付書類の削減、一元的でわかりやすい情報提供などを推進

効果(引越)

官民あわせて年間約1000億円※のコスト削減効果の見込み

訪問: 7機関 → 訪問: 転入地市町村のみ  
添付: 13書類 → 添付: なし

※ 引越者側の効果が約900億円、サービス提供者側の効果が約100億円

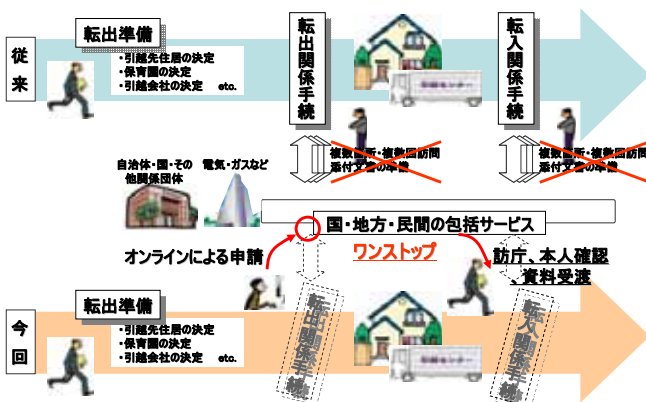
効果(退職)

官民あわせて年間約1200億円※のコスト削減効果の見込み

訪問: 6機関 → 訪問: 企業はなし、個人は公共職業安定所のみ  
添付: 15書類 → 添付: なし

※ 企業・退職者側の効果が約900億円、サービス提供者側の効果が約300億円

引越ワンストップのイメージ



退職ワンストップのイメージ

